



2019年8月9日

各 位

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
 代表者名 代表取締役社長 長井 啓
 (コード番号 : 6324)
 問合せ先 取締役 丸山 顕
 執行役員 上條 和俊
 TEL. 03-5471-7810

第1四半期受注高・売上高実績（単体）について

当社の2020年3月期第1四半期（2019年4月1日～2019年6月30日）の受注高・売上高実績（単体）を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第1四半期実績（単体）

（金額単位：百万円）

製品区分 受注・売上 区分	受注高			売上高		
	金額	前年同期 比 (%)	前四半期 比 (%)	金額	前年同期 比 (%)	前四半期 比 (%)
減速装置	2,072 (606)	26.2 (46.0)	108.8 (86.4)	5,013 (1,359)	46.7 (49.5)	52.6 (75.7)
メカトロニクス製品	767 (140)	46.6 (25.0)	86.3 (33.0)	1,001 (404)	63.6 (61.7)	76.3 (65.2)
合計	2,839 (747)	29.7 (39.7)	101.6 (66.3)	6,014 (1,763)	48.9 (51.9)	55.4 (73.0)

注) 括弧内の数字は輸出受注高及び輸出売上高であります。

2. 第1四半期の概況

- 当第1四半期の受注高は28億39百万円となり、前年同期比では減少しましたが、前四半期比では増加しました。
- 用途別の受注動向につきましては、前年同期比で、車載向けは増加しましたが、産業用ロボット向け、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッド、金属工作機械向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向けなど主要用途全般に減少しました。前四半期比では、半導体製造装置向け、金属工作機械向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどは減少しましたが、産業用ロボット向け、光学機器向け、石油掘削装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向けなどが増加しました。
- 前年同期比で受注高が減少したのは、前四半期と同様、米中貿易摩擦の影響などによる設備投資の手控えや見送り、半導体の設備投資計画延期などに加え、家電・通信・コンピューター業界で使用される小型ロボット向け、半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向けの減速装置に対しお客様からの発注調整が継続したことが主な要因です。当該発注調整は、お客様及び代理店各社が、足下の需要動向、当社製品の在庫水準等を勘案したことによる影響が大きいものと推定しております。
- 当第1四半期において、前四半期以前の受注分のうち、一部のお客様の生産計画変更などを主因とした先行発注品に対する受注の取り消しが4億89百万円発生しておりますが、当第1四半期における受注活動の結果と実需を適切に表すため、上記表中の受注実績は当該取り消し額を差し引く前の金額を記載しております。

- (5) 輸出受注高は前年同期比、前四半期比ともに減少しました。地域別では、前年同期比、前四半期比ともに、中国、韓国、北米、欧州などほぼ全ての地域において減少しました。
- (6) 当第1四半期の売上高は、前年同期比では51.1%減少、前四半期比では44.6%減少の60億14百万円となりました。

本資料に記載の数値は、会計監査人による監査を受けておりませんので、正式な決算数値とは差異が生じる可能性があります。

以上